

## 西宮版総合戦略に係る有識者会議

日 時	令和5年11月29日（水）午後1時30分～3時30分
場 所	西宮市役所 本庁舎8階 813会議室
出席委員	角野委員、木村委員、田中委員、中村委員、花城委員、前島委員
事務局	清水政策局長、時井政策局担当理事、三村政策総括室長、田中産業部長、堀越政策推進課長、但馬都市ブランド発信課長、下野商工課長、石井文化振興課長、中尾読書振興課長 ほか
会議の公開	公開
議 事	(1) 西宮版総合戦略の進捗状況について (2) 地方創生推進交付金事業について

（主な意見）

### (1) 西宮版総合戦略の取組状況について

- ・日本全体が人口減に向かうことは避けられないが、西宮市には多くの大学があり、大学を卒業した若者たちに西宮市に留まっただけのような施策が必要ではないか。まちとして働ける場所が多くあるということをしかりとアピールし、一度西宮市を離れたとしてもまた帰ってきたいと思うような環境づくりも非常に重要と考える。
- ・兵庫県内では子育て施策をアピールして人口増を実現している都市もある中、西宮市として子育てしやすいまちという意識を根付かせていくような取組を打ち出していく必要があるのではないか。また、就労問題に関して言えば、例えば障害者の就労支援について、西宮市がどのように効果的な支援を行っていくかという部分が、より住みやすい住環境につながっていくと考える。
- ・企業版ふるさと納税を活用する上で、寄附額増加に向けて更に戦略的な工夫を行うことが必要ではないか。例えば活用できる事業メニューを増やすことや、西宮市にゆかりのある企業・経営者に積極的に働きかけることで寄附額の増加が見込めるのではないか。また、地域創生推進交付金で市はスポーツ関連の取組をされているが、そのような事業を生かして、インパクトのある打ち出しを行っていくことも必要と考える。
- ・市の基本理念として「文教住宅都市」を掲げており、総合戦略において7つの基本目標を設定し、さらに各目標に係る数値目標を置いているが、これらの目標値の達成が真に文教住宅都市の実現に寄与するのか、改めて検討することも必要ではないか。
- ・西宮市は非常に人気が高く、移住・定住の希望者も多い地域である。とは言え人口面で言うと、市内の地域差や世代間の差はあるように思う。住宅政策を工夫しつつ、市内の人口バランスをいかに取っていくかという部分も課題であると考え。
- ・新しい住民をいかに呼び込むかという取組も重要であるが、現在西宮市に居住されている方に居住を継続していただくための取組も同様に重要である。西宮市は芦屋市や尼崎市と違って、南北に長い市であり、その特徴をどう生かしていくかという面も今後の課題になっていくのではないか。
- ・人口減が避けられないことは西宮市も例外ではなく、さらに現在の財政難という状況

において、阪神西宮駅北側等の再開発について、持続可能な開発の進め方を再検討していくべきではないか。

- ・高齢化や少子化により地域コミュニティの衰退を実感しており、市としてコミュニティ支援により力を入れていく必要があるのではないか。

## (2) 地方創生推進交付金事業について

### (地域スポーツ資源を生かしたビジネスの振興)

- ・スポーツビジネスを推進するに当たり、西宮市が今後どのようなビジョンを持っているかという部分が見えづらい。例えば冬季オリンピックを見据えたカーリングの活用等、具体性のある内容を分かりやすく打ち出すことが必要ではないか。
- ・他市の事例も参考に、テーマをより明確にした方が市民の方々からしてもイメージがしやすいと考える。J Tマーヴェラス等と市が連携し、新たな展開を工夫していくことが必要ではないか。
- ・当事業のメニューの名称が少し抽象的な印象である。また、それぞれのメニューについて、市が主体で取り組むよりも大学や一般企業に任せてしまった方が効果的に思える事業も入っている。その中であえて市がそれを担う目的を改めて整理するべきではないか。
- ・ビジネスの振興と銘打っている中で、スポーツに関連する産業の振興（スポーツウェアや用具等）も併せて検討する必要があるのではないか。

### (西宮市起業家支援センター整備事業)

- ・コワーキングスペースは以前と比べて数が増えてきたと感じるが、他市の取組を参考にコワーキングスペースの利用方法の見直しなど、ユーザー側として更に利便性を高める取組が必要ではないか。
- ・兵庫県の取組である「ひょうごスタートアップアカデミー」において中高生向けのプログラムや県内大学と連携した起業家の人材育成を実施している。これらの事業と市がうまく連携できれば何かいい展開が生まれる可能性がある。また、起業家支援事業の一環として学生を対象とした補助金を令和5年度から実施しているため、ぜひ活用していただきたい。
- ・西宮市の起業家支援は非常にレベルが高く、県内でも随一のものと考えている。起業家支援センターが整備され、本格的に事業がスタートしたところであるが、利用者の声を生かしながら今後更に良いものにするための工夫を継続していくべきである。
- ・事業メニューに入っている起業支援セミナーは施策として効果的と考える。大学も人口減・少子化の影響もあり、何か人を呼び込む特色を出さないといけないと考えているため、大学と市が連携して総合的に事業を展開していくべきではないか。
- ・大学でも起業のためのセミナー等を実施しており、受講者も多いと思うが、そこから実際に起業に結びつくことは決して多くは無い。よって、市としてはそのような起業に興味を持っている学生をいかに拾い上げて起業にまで持っていかという工夫が必要である。
- ・起業家の属性を見ると、20代が少なく40代は多いという印象を受ける。起業家を増

やすという観点から見ると、どの世代にどのようにアプローチするかという工夫を  
考えることでより効果的な施策となるのではないか。

以上